

技研ニュース

GREEN-NEWS No.159

日本自転車産業振興協会 技術研究所

1997.9



所長就任に際して

副 会 長

(兼) 技術研究所長 宇都宮 綱之

平成9年7月より、自振協の副会長に就任すると同時に、技術研究所長の任を引き受けることになりました。

長年の伝統ある技術研究所は、その前身の開放研究室から、昭和39年に現在の組織になり、各種の研究を実施し業界の振興、技術開発に努めてきました。昭和40年代は、加工法、品質性能、組立の自動化研究を実施、昭和50年代には、公害問題、CAD、車いすなどの取り組みを行っております。また、昭和60年以降は、競輪競技を主に競技支援研究、モノコック自転車の開発、福祉機器に関する評価などを進めてきました。

このように研究内容も外部の状況に合わせながら少しずつ変化をしてきております。

しかし、高度経済成長の時代も終わり、自転

車業界は大きく様変わりしてきております。一方技術研究所の組織も、平成6年3月には東京支所の閉鎖、さらに平成8年12月には大阪支所を閉鎖し、本所に統合とやむなきに至っております。人員も昭和40年代の70名をピークに、現在は28名の陣容になりました。職員の減少と高齢化、予算の縮小、研究の高度化への対応など研究環境は厳しさを増してきております。

今後、技術研究所は新たな役割を模索しながら、社会に役立つよう努める所存ですが、それにはまず活性化を図り、自らを厳しく律することが肝要であると考えます。微力ながら、新たな使命を担って全力を尽くす所存でありますので、技術研究所に対しより一層のご支援をお願いする次第です。

組織図

